

2016年2月1日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル
代表取締役社長 菊地 哲

CTC、クラウド型のポータルサービス cloudage portal2 を開始 既存サービスに各種SaaSサービスとの連携機能を追加し、スマートデバイスに対応

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:菊地 哲、略称:CTC)は、クラウド型のポータルサービス「cloudage portal(クラウドページ・ポータル)」に、営業支援ツールの Sansan や企業向け動画配信サービスの Qumu、ファイル共有サービスの Box 等を含めた各種 SaaS サービスとの ID 及びデータ連携機能を強化し、本日から cloudage portal2(クラウドページ・ポータル・ツー)としてサービスを開始します。価格は1ユーザー月額980円(税抜、最小100ユーザー)からで、スマートフォンやタブレット端末を活用して社員の働き方変革を図る企業にサービス展開し、関連ビジネスを含めて3年間で5億円の売上を目指します。

近年、ポータルサイトは、情報共有の基盤として社員同士のコミュニケーションも促進させるツールとして重要な役割を担っています。また、社外のクラウドサービスも年々多様化しており、スマートデバイスへの対応と共に、各種サービスとの連携によるさらなる業務効率化への貢献が期待されています。

cloudage portal2 は、マイクロソフトの SharePoint Server 2013 を基盤としたクラウド型のポータルサービスです。シングルサインオン環境を含め、普及している SaaS サービスと連携しているため、動画やファイル等、社員ごとに適切な情報を取得してポータルサイトに表示することが可能です。メールや SNS、チャットを含めたマイクロソフトの Office365 との連携により、社内外のコミュニケーションの活性化にもつながります。また、スマートフォンやタブレット端末にも対応しており場所を選ばない情報共有が実現できます。

情報共有のモデル策定からレイアウト設定やコンテンツ編集、利用率向上のための支援など、ポータルサイトの構築や運用に関連するサービスを併せて提供しており、お客様企業は、自社でポータルを構築して運用する場合と比較して最大で約50%のコストを削減できます。

CTC は、2000年に自社開発のポータルサービスをASPとして開始し、2010年からはマイクロソフトの SharePoint Server 2010 を活用してクラウドのポータルサービス cloudage portal を提供していました。今後も、長年のポータルサービス運用と企業システム構築のノウハウをもとに、セキュリティやネットワークなどの付随するサービスを拡充し、cloudage portal2 を強化して企業の情報活用に貢献していきます。

以上

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp